

ChatGPT 4o

共有する

Hi

あなた:

特許調査における生成 AI、サマリアの活用方法.docx

ドキュメント

3_特許調査における生成 AI、サマリアの活用方法(角淵由英).pdf

PDF

セミナー講演の書き起こしと使用された資料です。講演の要約を作成してください。

ChatGPT:

ChatGPT

講演「特許調査における生成 AI とサマリアの活用方法」(角淵由英先生)の要約は以下の通りです。

講演の概要

- **生成 AI の活用:** 特許調査において、生成 AI を活用する利点と課題について議論されました。生成 AI を使用するための適切なプロンプト設計の重要性が強調され、明確な指示や制約条件を追加することでより良い結果が得られることが説明されました(特許調査における生成 AI、サマリアの活用方法)(3_特許調査における生成 AI、サマリアの活用方…)
- **新ツール使用時の注意点:** 新しいツール(例えば生成 AI)を使用する際には、正しい使い方の理解、セキュリティとプライバシーへの配慮、ツールの限界の認識が重要であることが挙げられました。これにより、適切な情報収集が可能になるとされています(特許調査における生成 AI、サマリアの活用方法)。

サマリアの活用

- **サマリアの機能と特許調査での応用:** AI アシスタントであるサマリアの特徴や機能が紹介され、特許分類や文献の抽出、スクリーニング、報告書作成における実際の活用方法が示されました。例えば、特定のキーワードに基づいて IPC 分類を自動で提案するなど、生成 AI の具体的な応用例が提示されました(3_特許調査における生成 AI、サマリアの活用方…)

調査プロセスの進化

- **特許調査の歴史と未来:** 特許調査の手法が進化してきた背景と、今後の生成 AI の導入によるさらなる効率化が予想されています。また、生成 AI の導入により、検索式の作成や関連特許文献の自動抽出が可能となり、調査業務が大幅に簡素化されるとされています(特許調査における生成 AI、サマリアの活用方法)(3_特許調査における生成 AI、サマリアの活用方…)

課題と今後の展望

- **生成 AI の限界と人間の役割:** 生成 AI は調査の精度を上げる一方で、依然として人間の判断が必要な場面が多いことが指摘されました。特許調査では AI によるサポートが有効ですが、最終的な判断や具体的な応用には人間の確認が不可欠とされています(特許調査における生成 AI、サマリアの活用方法)。

以上が講演の主な内容です。この講演では、生成 AI とサマリアを活用することで特許調査がどのように変革できるかに焦点が当てられていました。

4o

あなた:

1. 生成 AI とプロンプトというところを詳しく

ChatGPT:

ChatGPT

講演の「生成 AI とプロンプト」の詳細についてお伝えします。

生成 AI とその特徴

- **生成 AI の概要:** 生成 AI (Generative AI) は、大量のデータを学習し、それに基づいた新しいデータやコンテンツ (文章、画像、音楽、コードなど) を自動的に生成する技術と定義されています。たとえば、文章生成 AI の ChatGPT や画像生成 AI の DALL-E が代表例として挙げられています。生成 AI は、パターン認識を通じてデータを学習し、これをもとにして新たな創造ができる点で画期的です(特許調査における生成 AI、サマリアの活用方法)(3_特許調査における生成 AI、サマリアの活用方…)

生成 AI の使用に対する賛否

- **「使えない」という意見の背景:** 生成 AI について、「使えない」との意見もあるが、これは以下の理由からであるとされています。
 1. **品質や精度の問題:** 出力結果が期待通りではない場合や、生成された内容が不自然になることがあるためです。
 2. **誤情報や誤解:** 学習データの品質により、誤った情報が生成される可能性もあり、信頼性が懸念されることが挙げられています。
 3. **人間の創造力や仕事への影響:** AI が人間の仕事や創造的な作業を置き換える可能性があることへの不安も、生成 AI に対する抵抗感を生んでいるとされています。
 4. **使い方の難しさ:** 生成 AI を効果的に使うには、知識やスキルが必要であり、適切なプロンプトが求められるため、「うまく使えない」と感じる人もいるとのことです(3_特許調査における生成 AI、サマリアの活用方…)

プロンプトの重要性

- **プロンプトの役割:** 生成 AI を活用するためには、明確で効果的なプロンプト (指示

文)が必要です。適切なプロンプトがなければ、AIの出力結果も期待通りにはならず、逆に不適切な結果が得られることがあります。

- **深津式プロンプト・システム:** ChatGPTのような生成AIを最大限に活用するためのプロンプト設計法として、「深津式プロンプト・システム」が紹介されました。これには、以下の6つのポイントがあります(特許調査における生成AI、サマリアの活用方法)(3_特許調査における生成AI、サマリアの活用方…)
 1. **役割を明確化:** 生成AIに対して、どのような役割(例: 特定の専門家やキャラクター)を与えるかを明示します。
 2. **入力文から出力を生成することの明確化:** 入力に応じた出力を生成することを明示し、AIの作業を明確化します。
 3. **出力内容の明確化:** 出力として期待する内容を具体的に定義します。
 4. **マークアップ言語を用いる:** 本文と区別するためにマークアップ言語を用いて命令や条件を区切り、AIに指示の意図を伝えやすくします。
 5. **命令を箇条書きにする:** 複雑な指示を分かりやすく箇条書きにし、AIにステップごとの指示を与えます。
 6. **条件を追加し出力をコントロール:** 文字数や表現方法の制限を追加し、出力結果の範囲や内容をコントロールします(3_特許調査における生成AI、サマリアの活用方…)。

新しいツールを使う際の注意点

- **効果的な使い方:** 新しいツールを試す際、マニュアルの熟読やチュートリアルが活用が推奨されています。特に生成AIの場合は、セキュリティやプライバシーの管理が重要視され、ツールの限界を理解することも求められます。生成AIには得意・不得意があるため、最適な場面で適切に使うことが推奨されています。

生成AIとプロンプトに関するこのような説明は、特許調査や他の専門的な業務で生成AIを活用するために、非常に重要な基礎知識とされています。

4o

あなた:

2. 特許調査における生成AIの活用、を詳しく

ChatGPT:

ChatGPT

「特許調査における生成AIの活用」に関する詳細をお伝えします。

生成AIの特許調査での応用分野

生成AIは特許調査において、従来の調査方法より効率的に様々な場面で活用可能であるとされています。以下のような用途が特に効果的です。

1. **先行技術調査:** 特許出願前に既存の技術(先行技術)が存在するかどうかを調べるため、生成AIは検索式を生成し、効率的に特許文献を収集するのに役立ちます。こ

れにより、特許調査担当者が探しやすい検索式が自動生成され、時間と労力が削減されます(特許調査における生成 AI、サムリアの活用方法)(3_特許調査における生成 AI、サムリアの活用方…)

2. **侵害予防調査:** 新製品が他の特許権を侵害していないか確認するための調査においても、生成 AI が活用されています。生成 AI は、製品に関連する特許文献の中から潜在的なリスクを早期に発見し、特許侵害のリスクを最小限に抑えるサポートを提供します。
3. **無効資料調査:** 既存の特許に対する異議申し立ての際、特許の無効化を目指して関連資料を収集する場合にも、生成 AI が利用されています。特許文献の特徴を分析し、関連文献を効率的に抽出することで、無効資料の発見がスムーズになります。

生成 AI を用いた調査のプロセス

生成 AI を活用した特許調査のプロセスには以下のステップが含まれます。

1. **検索式の自動生成:** 特定の技術に関連するキーワードを入力するだけで、生成 AI が特許検索式を自動的に作成します。この検索式は、特許分類 (IPC) や関連する用語を含んだ検索式であり、特許文献データベースでの精度の高い調査を可能にします。野崎篤志氏が開発した「特許検索式作成 GPT」もその一例で、これにより検索式作成の省力化が実現されます(3_特許調査における生成 AI、サムリアの活用方…)
2. **特許分類のサポート:** 生成 AI は、特許分類の判定をサポートします。例えば、発明の名称や請求項に基づいて、関連する国際特許分類 (IPC) を予測し、その分類に基づいた文献抽出が可能になります。これにより、技術領域ごとの検索が容易になります(特許調査における生成 AI、サムリアの活用方法)(3_特許調査における生成 AI、サムリアの活用方…)
3. **スクリーニングとフィルタリング:** 検索結果の中から関連性の高い文献をスクリーニングするため、生成 AI が特許文献をフィルタリングする機能を提供します。これにより、大量のデータの中から重要な文献を抽出する作業が効率化されます。
4. **レポートの自動生成:** 生成 AI は調査結果のレポート作成にも活用されています。検索結果から抽出した文献情報をもとに、クレームチャートや要約レポートを自動で生成することができ、調査後の報告作成にかかる時間を短縮できます。

生成 AI 活用時の注意点

- **人間の確認が必須:** 生成 AI による検索や抽出は便利ですが、特許文献の精度や関連性の最終確認には、必ず人間の判断が必要です。AI の検索では、文献の一部に誤りや不正確な情報が含まれる可能性があるため、人間が必ず確認することで品質を保証します(3_特許調査における生成 AI、サムリアの活用方…)
- **機密情報の管理:** 生成 AI の利用に際しては、特許調査で扱う機密情報が外部に漏洩しないよう、セキュリティ対策や適切なプラットフォームの選択が求められます。AI ツールの利用規約に基づき、入力データが学習に使用されないよう注意が必要で

す(特許調査における生成 AI、サマリアの活用方法)。

実際の活用事例

- **国際特許分類 (IPC) の自動提案:** 生成 AI は特定の技術について IPC コードを提案し、検索作業をサポートします。特定のキーワードや技術分野の文献に適切な分類を自動で振り分け、検索効率を高めるため、特許情報の収集が迅速に行われます(3_特許調査における生成 AI、サマリアの活用方…)。
- **自然言語入力を用いた検索:** 特許調査では、複雑な検索式の代わりに自然言語での入力が可能な場合もあり、これにより初心者でも特許検索が行いやすくなっています。例えば、磁石で浮上する技術に関する特許を調査する際、生成 AI が自然言語での検索を適切なキーワードへと変換し、検索式を生成します(特許調査における生成 AI、サマリアの活用方法)。

生成 AI は特許調査の効率を飛躍的に高めるツールとして、今後もその応用範囲が拡大すると期待されています。

4o

あなた:

3. 特許調査におけるサマリアの活用 について詳しく

ChatGPT:

ChatGPT

「特許調査におけるサマリアの活用」についての詳細を説明します。

サマリアの特徴と特許調査での役割

サマリアは、特許調査において生成 AI と組み合わせた AI アシスタントツールとして、特許調査のプロセスを効率化するために活用されています。特許情報の収集や分析、分類、報告作成を支援する複数の機能を備えています。

サマリアの主要な機能とその活用方法

1. **用語定義・文書の要約作成:** サマリアは特許文献や専門用語の定義を自動生成する機能を備えています。特に新しい技術や難解な専門用語について簡潔な定義や要約を作成し、調査担当者が理解しやすくなるようサポートします(特許調査における生成 AI、サマリアの活用方法)(3_特許調査における生成 AI、サマリアの活用方…)。
2. **キーワード抽出とスクリーニング:** 特許調査で膨大な量の文献を扱う際、サマリアは特許文献内のキーワードや重要な用語を自動抽出し、それに基づいて関連性の高い文献をスクリーニングします。このスクリーニング機能により、調査対象の絞り込みが効率化されます。また、関連性の高い文献にタグをつけることで、文献を分類する作業が容易になります(3_特許調査における生成 AI、サマリアの活用方…)。
3. **クリアランス調査支援:** サマリアには、クリアランス調査を支援する機能があり、自社の特許が他社の特許権に抵触しないかの確認を支援します。逆に、競合他社の製品や特許を調査し、潜在的な侵害リスクを発見することも可能です。この機能は、

特許戦略を立てる際に有用で、競争力を高めるための判断材料を提供します(特許調査における生成 AI、サマリアの活用方法)。

4. **特許分類の自動化:** サマリアは、入力された技術や用語に基づいて適切な特許分類 (IPC や CPC) を自動で提案する機能を持っています。特許分類コードに基づく検索や分類が容易になり、調査の精度と効率が向上します。たとえば、技術的なキーワードを入力することで、関連する特許分類コードを推定し、調査対象の特許文献を適切に絞り込むことができます(3_特許調査における生成 AI、サマリアの活用方…)。
5. **レポート作成の支援:** サマリアは、特許調査の結果をまとめてレポートを自動生成する機能も提供しています。調査結果をもとにして、クレームチャートや要約を自動作成し、レポート作成にかかる時間と労力を削減します。これにより、特許調査担当者は調査内容をわかりやすく報告することができ、意思決定を迅速にサポートします(3_特許調査における生成 AI、サマリアの活用方…)。
6. **ユーザーインターフェースの改善とウィザード機能:** サマリアには、特許調査のプロセスを支援する「AI アシスタント・ウィザード」機能が備わっており、調査プロセス全体の流れをスムーズにサポートします。例えば、調査対象を明確にし、検索式を構築し、スクリーニングを実施し、最終的に報告書作成までを段階的にガイドしてくれます。この機能は特に特許調査の初心者にもわかりやすく、スムーズな操作が可能です(特許調査における生成 AI、サマリアの活用方法)(3_特許調査における生成 AI、サマリアの活用方…)。

実際の活用例

- **特許分類の自動提案:** サマリアは特許文献の検索で、入力された技術的キーワードに基づき自動的に IPC (国際特許分類) や CPC (共通特許分類) を提案し、分類に基づく検索式の作成をサポートします。これにより、特許調査担当者が精度の高い検索結果を得られるようになります(特許調査における生成 AI、サマリアの活用方法)。
- **ハイライト機能による読みやすさの向上:** サマリアは特許文献を読みやすくするために重要な部分をハイライトし、特に注目すべきポイントを視覚的に示します。これにより、文献の内容を効率よく把握することが可能になります(3_特許調査における生成 AI、サマリアの活用方…)。
- **クリアランス調査と非侵害証明:** サマリアは、特定の製品が他社の特許権に抵触していないか確認するためのクリアランス調査にも活用されます。特に、競合製品や技術の分析を通じて、特許侵害リスクを早期に検出し、対応策を検討するのに役立ちます(特許調査における生成 AI、サマリアの活用方法)(3_特許調査における生成 AI、サマリアの活用方…)。

活用のメリットと注意点

サマリアの導入により、特許調査にかかる時間や手間が大幅に削減され、効率的な調査が可能になります。また、特許分類や検索式作成などの専門知識が必要な作業をサポートし、調査結果の質を向上させます。ただし、調査結果の精度を保つためには、最終的な判断は人間が行う必要があります。

サマリアは生成 AI を活用した特許調査ツールとして、特許調査のスピードと正確性を大幅に向上させる強力なサポートを提供しています。